
縁—ENISI—

夢乃ツツキ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

縁ーENISIIー

【Nコード】

N4344D

【作者名】

夢乃ツヅキ

【あらすじ】

飛び散ったはずの塊から、黒い石が出てきます。その石をめぐつて、いろいろ騒動が起こるはず…

語り継がれる物語（前書き）

登場人物・時代背景・建築物に関して、実際に存在するものと関係ありません。

語り継がれる物語

うちの町は、ちょっと曰く付きの土地に立っている。

その昔この地に、妖怪達が好んで集まったという、その名も『妖霊石』と言う石がありました。その石はあまり、大きいものではなく、ちょうど何かが手足をおり、ちじこまっているような形をして、まがましい妖気を放ちまわりの草木は、枯れ果て、唯一妖怪達が近づき『妖霊石』の力で、己の傷を治したり己の力を増幅していた。

しかしそれには副作用があり、欲を出しすぎて『妖霊石』に近すぎ過ぎたき者は、強力な力に飲み込まれまれ、今まで優しくったよくな者まで、自我を失い人々を襲い始めてしまうのである。

それを重くみた土地の領主は、陰陽師・僧侶・修験者などを国中から呼び集め、『これを沈めよ』とお触れを出したのである。

しかしなかなか功績をあげるものがおらず、なかば諦めかけた頃、安倍晴明「あべのせいめい」・賀茂光栄「かもこうえい」・蘆屋道満「あしやどうまん」・弓削是雄「ゆげこれお」・滋岳川人「しげたけのかわひと」の五人が現れ、我らにお任せあれと言いいいて、『妖霊石』の元まで辿り着くと、陰陽五行の五ぼう星の形を取り、それぞれの得意とする技「ぎ」を尽くし沈めにかかりました。

しかし相手もさること、最初のうちは静まる気配すらなく皆一様に疲れの色が目立ち始めた頃、やっと徐々に力が弱まり最後の抵抗とばかり、一段と妖気を流した後、妖霊石は五つに碎けそれぞれに飛び散ちり、その後核とも呼べる黒い丸い石が微量の邪気を放ち残っていた。

このままにしておけぬと言うことで、五人は丸い石を祠「ほくら」に祭り更に、自分が担当した方角に社「やしろ」立てこれからの成り行きを見守ることにしました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4344d/>

縁—ENISI—

2011年1月19日03時45分発行